

小川真知子（おがわ まちこ）／NPO法人 SEAN 理事長

「コマーシャルの中の男女役割を問い直す会」でメディアウオッチしつつ、高校講師を経て、1994年より兵庫県立女性センター（現男女共同参画センター）の情報アドバイザー、1999年から2013年まで西宮市男女共同参画センターの専門職員として勤務後、現在はNPO法人SEAN（シーン）理事長。大阪公立大学でジェンダー論を担当（非常勤講師）。

白藤友季奈（しらふじ ゆきな）／ネットリンクス株式会社 クラウドコンシェルジュ

ネットリンクスでは年間約50件のオンライン配信を支援しており、Zoomを使ったWEBセミナー/オンラインイベントの開催手順や機材設定のノウハウが豊富。

柳原志保（やなぎはら しほ）／「歌う防災士 しほママ」 防災・安心プランナー

宮城県多賀城市出身、熊本県和水町在住のシングルマザー。

東日本大震災で2週間の避難所生活、移住先の熊本で熊本地震や令和2年7月豪雨と3度の大きな災害を経験。

その教訓から得た防災術をママ目線で歌を交えて伝える講演は全国700カ所、参加者4万人以上に。

次男も防災士で親子講演も。内閣府男女共同参画アドバイザー、熊本県防災会議委員をはじめ、テレビやラジオのレギュラー番組や執筆、YouTubeなど幅広い防災啓発活動を行っている。

原 健一（はら けんいち）／NPO法人DV対策・予防センター九州理事長

1998年、任意団体「メンズサポート福岡」を設立。これまでの男性性にとらわれた生き方よりも自分らしく生きることを考える男性メンバーのみのグループを主宰。同時に相談電話も設置して、自らのDVに悩む男性、DVに苦しむ女性の相談、ストーカー被害の方からの相談などを受けてきた。2001年、DV加害者男性に対して非暴力ワークプログラムを行う「メンズサポートふくおか」を設立。プログラムは5年実施、その後は自助グループ運営を支援。現在もDV加害者を自認する男性からの定期面談を行っている。福岡県内の精神科病院ではDV被害者女性を支援するために「DV外来」を立ち上げ、同時に心理士としてカウンセリングにあたる。2003年「熊本県DV加害者研究チーム」研究員を経て、2005年より高校生向け「DV未然防止教育」の授業を担当する。これまで佐賀県内外含め1100校以上、約12万人以上の生徒に若年層における男女間の暴力の実態を伝える。2012年、性暴力救援センターさがmiraiの開設を主導。2019年「佐賀県DV防止・被害者等支援基本計画」立案を主導。

大久保 暁（おおくぼ あきら）／暁project代表

30歳手前にしてこのままでいいのか！と自問自答するようになる。悩んだ末、自分らしく男性として生きる道を決意する。高知から徳島の病院まで通い、「性同一性障害」の診断書をもらう。その後高知県でホルモン注射を開始。東京の美容クリニックで乳腺摘出手術。石川の産婦人科で子宮全摘出手術。すべての手術を終え、31歳で戸籍を男性とした。

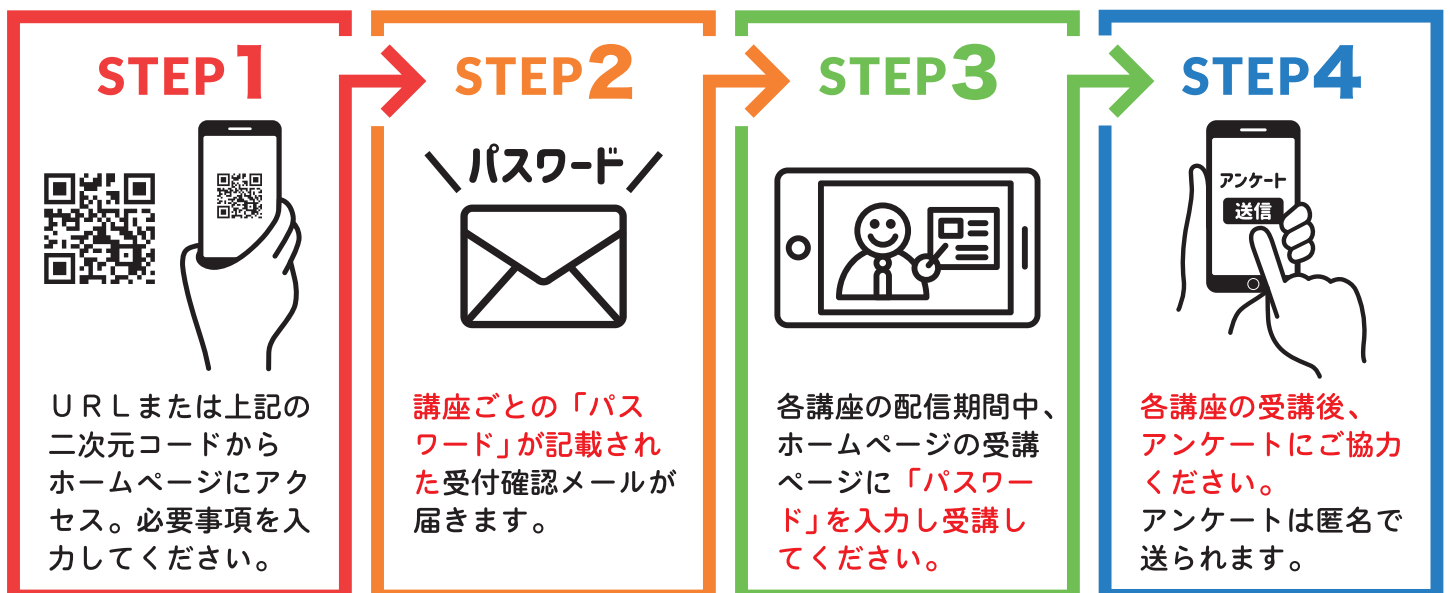
わたしが輝ける“しごと”のヒント ～晴れの国、吉備は希望がいっぱい～

求人情報には載っていない、企業のトップが望んでいることを知ろう！！

働くことを考えはじめた女性に、自分が思っている以上に地元企業には仕事の幅はたくさんあり、様々な働き場所や可能性がたくさんあること、そして不安にならないで一歩踏み出す勇気につながる言葉を企業のトップが語りかける

※岡山県内企業各社（3社）を予定。出演企業はHPからご確認ください。

【お申し込み・受講について】



※申込完了後、自動的に「受付確認メール」をお送りいたします。携帯電話からお申し込みの場合、機種種の「迷惑メール対策」等の設定によりメールが届かない場合があります。「受付確認メール」が届かない場合には、一度迷惑メールフォルダの中をご確認ください。

※本講座にお申し込みいただいた際の個人情報は、主催者にて適正に管理し、講座のご案内等の目的以外に使用いたしません。